

## ポジティブ子育て 68号

～自分で頑張る力を育む～



『地域のみんなと秋祭り』  
みずほ保育園



『みんなで焼きいも会 おいしいね♪』  
片上幼稚園



『1年生と遊ぼう! ～6年生～』  
神明小学校



『体育大会 大玉送りスタートしました!』  
中央中学校

**小学校高学年～**

『急行「北極号」』  
C・V・オールズバーグ/絵と文  
村上春樹/訳  
あすなろ書房

『ナルニア国物語  
ライオンと魔女』  
C・S・ルイス/作  
瀬田貞二/訳  
岩波書店

**中学校～**

『飛ぶ教室』  
エーリヒ・ケストナー/作  
高橋健二/訳  
岩波書店

**小学校低学年～**

『しもばしら』  
細島雅代/写真  
伊地知英信/文  
岩崎書店

『十二支のお節料理』  
川端誠/作  
BL出版

**小学校中学年～**

『しめかざり』  
森須磨子/文と絵  
福音館書店

『とびきりすてきな  
クリスマス』  
リー・キングマン/作  
山内玲子/訳  
岩波書店

**4・5歳～**

『こたつ』  
麻生知子/作  
福音館書店

親子で過ごす大切な時間、読書をしてゆつたり楽しんでみてはいかがでしょうか。

**鯖江市図書館おすすめ**

### インターネット 安全・安心通信

☆インターネットトラブル事例「無料読み放題」の落とし穴

最近では、スマホでたくさんのマンガを読むことができます。しかも「無料読み放題」というサイトも多く目にします。つついよく知らないサイトで読んでしまうと、いつの間にか落とし穴にはまってしまうこともあるようです。

下記QRコードより、マンガで事例の紹介をみることが出来ます。

無料マンガの事例

その他の事例

**ネット対策5つのポイント**

- ⓐ 時間と場所を決めて使おう。
- ⓑ 家族や友達とルールを決めよう。
- ⓒ 誤解のない言葉でやりとりしよう。
- ⓓ 人の嫌がることや悪口は書き込まない。
- ⓔ ネットで知り合った人とは会わない。

安全のために、必ずフィルタリングを!

青少年健全育成鯖江市民会議

### 第3日曜日は「家庭の日 家族ふれあいデー」

県では毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、家族のふれあい時間（家族時間）を増やす運動を推進しています。

お子さん(18歳以下)連れのご家族が特典を受けられる市内の店舗はこちら→

### 電話相談受付中 相談窓口

|              |                            |                     |
|--------------|----------------------------|---------------------|
| 子どもの発育や健康の相談 | 健康づくり課<br>(52-1138)        | 月～金曜日<br>8:30～17:15 |
| 児童相談         | こどもまんなか課<br>(53-2269)      | 月～金曜日<br>8:30～17:15 |
| 子育て相談        | 子育て支援センターにじいろ<br>(51-3527) | 月～金曜日<br>9:00～16:30 |

言語聴覚士によることばの相談も対応しています

不安や悩みは一人で抱えこまず、ちょっと気になることや心配なこと等、何でもお話ししよう◎

## 子どもへの接し方に悩んでいます！



うちの子、スポーツ少年団に入っているんだけど、練習や試合の帰り道で、「あのプレーで満足しているの？」「今日のプレーの〇〇がよくなかった。」なんてダメ出ししてしまう。褒める方がよいことは分かっているんだけど、自分も同じスポーツをしていたからなかなか褒めることができない。本当は、勝つことよりも、スポーツを好きになってほしいと思っているのに。

分かるよ。自分に経験があると余計に口を出しちゃう。技術的なことをアドバイスするのはいいとして、気持ちの面では言い過ぎないようにしたいね。

つい言いすぎてしまうのは、子どものことが大好きだからだよ。私も、子どもに期待しすぎてしまうことはよくあるよ。

「〇〇はよかったね。〇〇はもう少し考えるとよかったね。」という感じで、よいところとうまくいかなかったことを両方伝えるとい



苦手なことに目が向いちゃうと、褒めるのは難しいと思う。まずは、子どもが頑張っている時に「見てるよー」と声をかける。それから、「つぎより〇回増えたね。」とか、小さいことでも大きく褒めるといいかも。

子どもの成功体験を見逃さずに褒めることで、自分の目標に向かって、自分で頑張る子になるんじゃないかな。

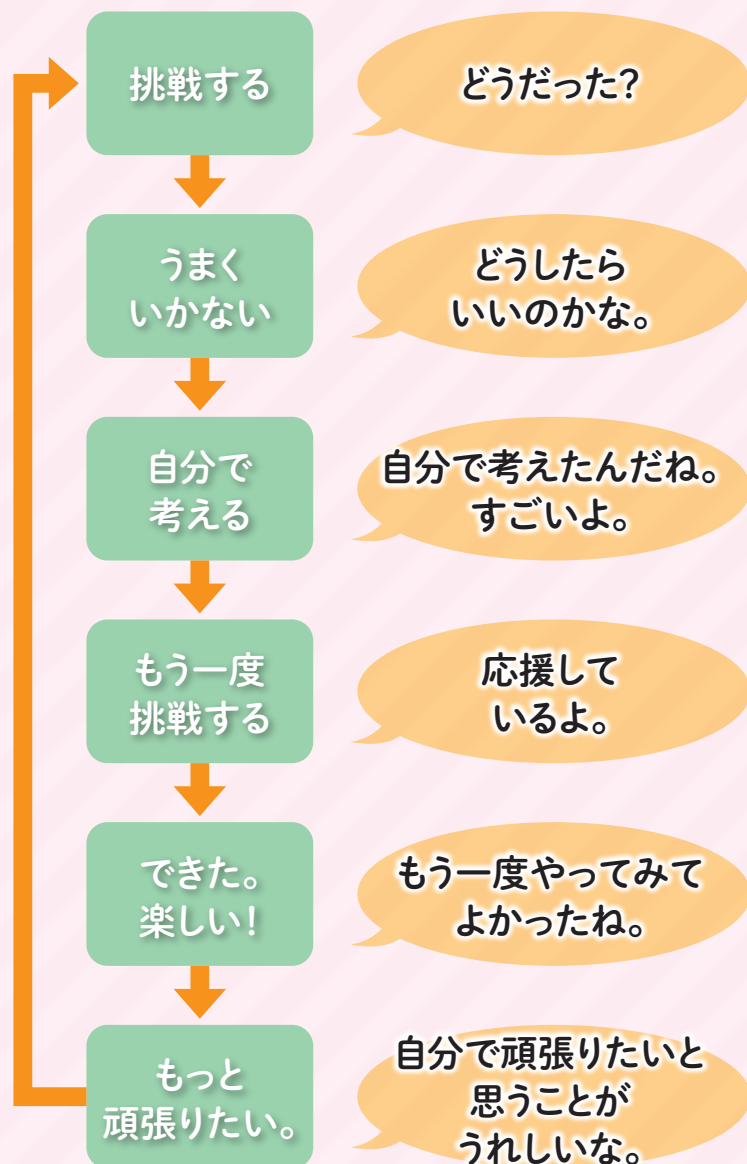
子どもをよく見ることだね。確かに見ていると、休んで力をためている時期と、挑戦する時期があることがわかるね。子どもの状況にぴったりの声かけができるようにしたいね。



本当は、子どもを褒めることで自信をつけさせて、自分で頑張る子になってほしい。そして、「子どもが好きなことを見つける」「子どもが困ったときに、自分で考えたり選んだりして行動できる」手助けができるといいな。具体的にどうしたらいいのかな。

## 自分で頑張る子が育つ環境づくり

子どもの姿をよく見て、「気づいてほしい」と自分で気づいて行動できたことを褒める「ような言葉をかけてみましょう」。



自分でどうすればよかったのかを考えたことや、自分の気持ちを言語化できたことを褒める言葉が大切です。周りからのアドバイスで気づくより、自分で気づいて、次の行動を自分で決めることが自信にも繋がります。

もし、うまく言語化できない場合は、いくつか例を出して、選ばせることも手助けです。

手を出さず  
口を出さず  
けれど  
目を離さない

## 涓滴

ポジティブ子育てとは、子どもをマイナス思考でみるのではなく、プラス思考で見守り続ける子育てのことです。具体的なポジティブ子育て「3か条」を考えてみました。

### 1 「子どもの有用感を育てる」

自己有用感とは、子ども自身が誰かから認められている、必要とされているという感覚です。この有用感を育てるには、子どもの「好き」を育てることが一番ではないかと思えます。具体的には「〇〇を熱心になんばっていたね」「〇〇が好きなんだね」と子どもに伝えていけば、子どもは、自分自身の特性に気づいていくのではないのでしょうか。

このような子どもの「好き」が増える「言葉かけ」と「しかけ」が重要だと思います。

### 2 「子どもに選択させる」

どんなことでも子どもが自ら選択し、取り組めば、最大限の力を発揮するものです。逆に「勉強しなさい」「等の「命令」では、子どもの拒否感は強くなり、能力も発揮することができなくなります。この子どものやる気を引き出す一番は「自己選択」です。「〇〇するか、△△するかどちらにするかな」「この本を買うか、隣の本を買うか、どちらがいいかな」「A高校か、B高校か、どちらに進みたいのかな」など、選択させていくことで、子どもの自立する心は、伸びていきます。

### 3 「言語化する」

子どもたちは、日々の生活でいろいろな悩み、葛藤しています。子育て名人と言われる人が、子育ての秘訣として第一にあげたのが「言語化」です。「どうしたの」と問いかければ、子どもは自分の思いを伝えようとし、言いたいことをまとめようとするものだと言います。つまり、この言語化を通して、子どもの思考力が鍛えられ、自分自身をつくることにもつながっていきます。まさに家庭における国語の時間だといえます。そして、子どもの心も育っていくのです。言語化は、子どもを育てる「手だて」になるのです。勉強やスポーツ、習い事等、思わず口を出したいときもあるでしょう。そんな時は、始めと終わりの時間だけ、子どもに寄り添い「今日は、どうだったかな」と感想を聞くのも「手だて」です。子どもと距離を取り、その取り組みを言語化させることで、よりよい親子関係につながっていくと思います。

最近、「不登校」や「ひきこもり」が大きな課題となっています。これを親鳥とひな鳥の関係にたとえれば、子どもの「巣立ち」の問題だとも言えます。飛び立ちたいのに飛べない状態だということ。子どもが自分の力で羽ばたけるよう、生きる力を育むことが大切です。

「子どもの有用感を育てる」「子どもに選択させる」「言語化する」の実践により、子ども自身が、社会に羽ばたく力をつけていきます。しかし、時間はかかります。時には「褒める」だけでなく、「叱る」ことも必要になります。また「まあいいか」と見逃す余裕も必要でしょう。子どもと関わり合いながら、そして子どもを見守りながら、根気よく、子どもの「巣立ち」を支えていきましょう。

※「涓滴」とは「じゅんてき」という意味。じゅんも集まれば、やがて大河となることの願いをいめています。